

愛称

ぜんぞう トリオ 2607



あおぞら・新グローバル・トリオ・ファンド (限定追加型) 2026-07

追加型投信／内外／資産複合



本資料のご利用にあたってのご留意事項等

■本資料は、あおぞら投信株式会社(以下「当社」といことがあります。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しいたしますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■投資信託は値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。

■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■本資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。

■本資料に記載された市況や見通し(図表、数値等を含みます。)は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。

■投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」および目論見書補完書面をご覧ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■ 設定・運用は

 **武蔵野銀行**

 **あおぞら投信**
AOZORA

商号等 株式会社武蔵野銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第38号
加入協会 日本証券業協会

商号等 あおぞら投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2771号
加入協会 日本証券業協会／一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

よゆうをつくろう。 トライはじめよう。

より良い
暮らし

選択肢の
広がる未来



本書に記載の「ぜんぞうトリオ」は、「あおぞら・新グローバル・トリオ・ファンド（限定追加型）2026-07」の愛称です。
*ぜんぞうトリオ（以下「本ファンド」ということがあります。）がチェックポイントとしている基準価額20,000円に到
将来の運用成果を保証するものではありません。



豊かな人生

資産づくりの話を、もっともっと、オープンに語り合える世の中へ。

そのために投資を安心して使いこなしてほしい、

そして余裕ある生活を楽しんでいただきたい、

その想いで誕生したのがこの株式・債券・金の3資産による
グローバル分散投資を行う「ぜんぞうトリオ」です。

目標は、**長期投資において、**

チェックポイント(基準価額20,000円)を目指し、

その後も資産を戦略的に育てていくこと。

投資が限られた人だけのものではなく、

みんなが使える「生活スキル」になると信じて。

さあ、あなたも。

「生活スキル」習得までの **3** ステップ

INDEX

STEP **1** **投資の原理原則を知ろう!** P.03

STEP **2** **ぜんぞうトリオを知ろう!** P.08

長期投資でチェックポイントを目指し
その後も資産を戦略的に育てるためには

STEP **3** **ぜんぞうトリオを始めよう!** P.17

ファンドの詳細情報はこちら

STEP 1 投資の原理原則を知ろう!

大きな損失が出ないか不安・・・

リスクを正しく理解して 許容範囲を確認しましょう

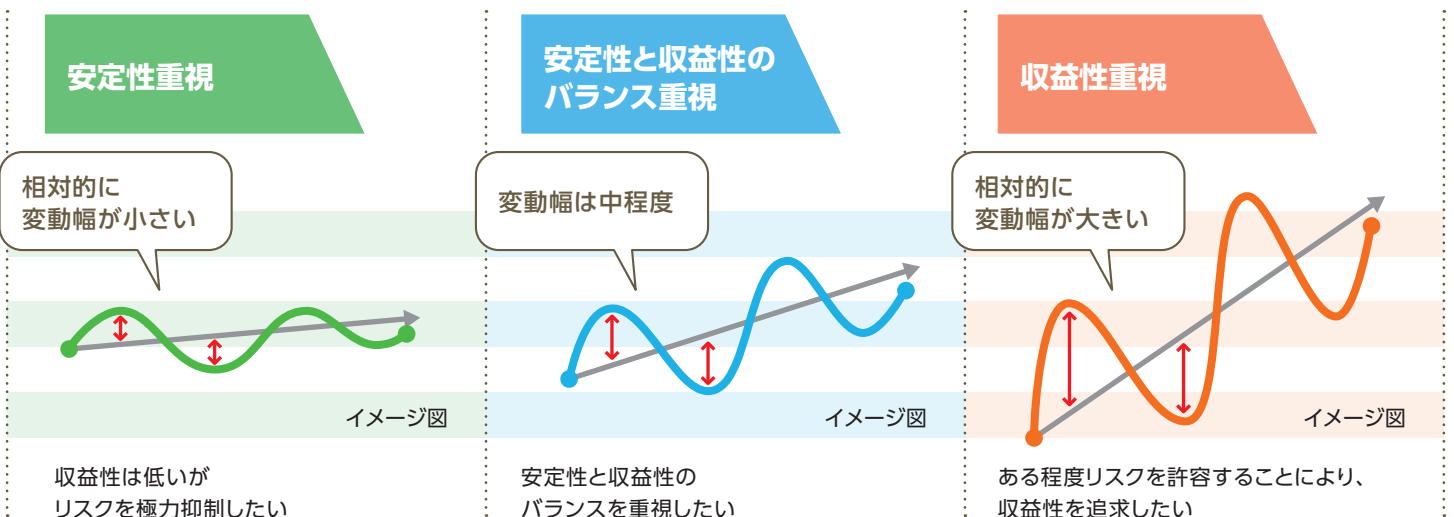
リスクと
リターンの
関係?



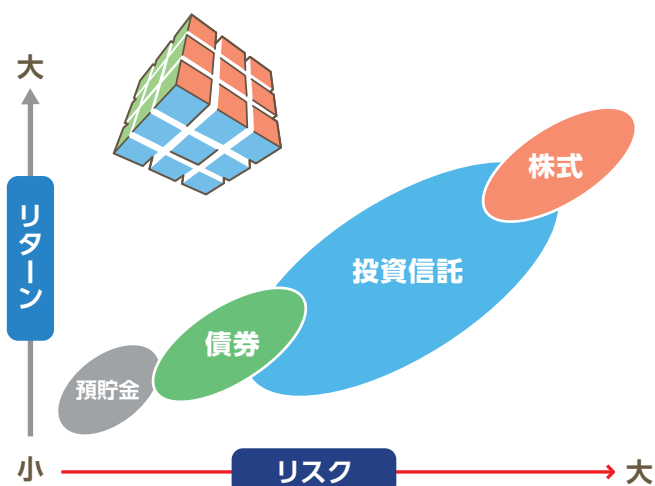
リスクとリターンは表裏一体

「リターン」とは、投資で得られる収益のことを指し、「リスク」とは、リターンの変動幅(ブレ)のことを指します。一般的に大きなリターンが期待できる商品は、その分「リスク」も大きく、損失も大きくなる可能性があります。これに対して、「リスク」を抑えようとすると、「リターン」も小さくなるという関係があります。

投資スタイルとリスク・リターン



代表的な資産のリスク・リターン



目的にあった金融商品を選びましょう!



※上記はイメージ図であり、運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

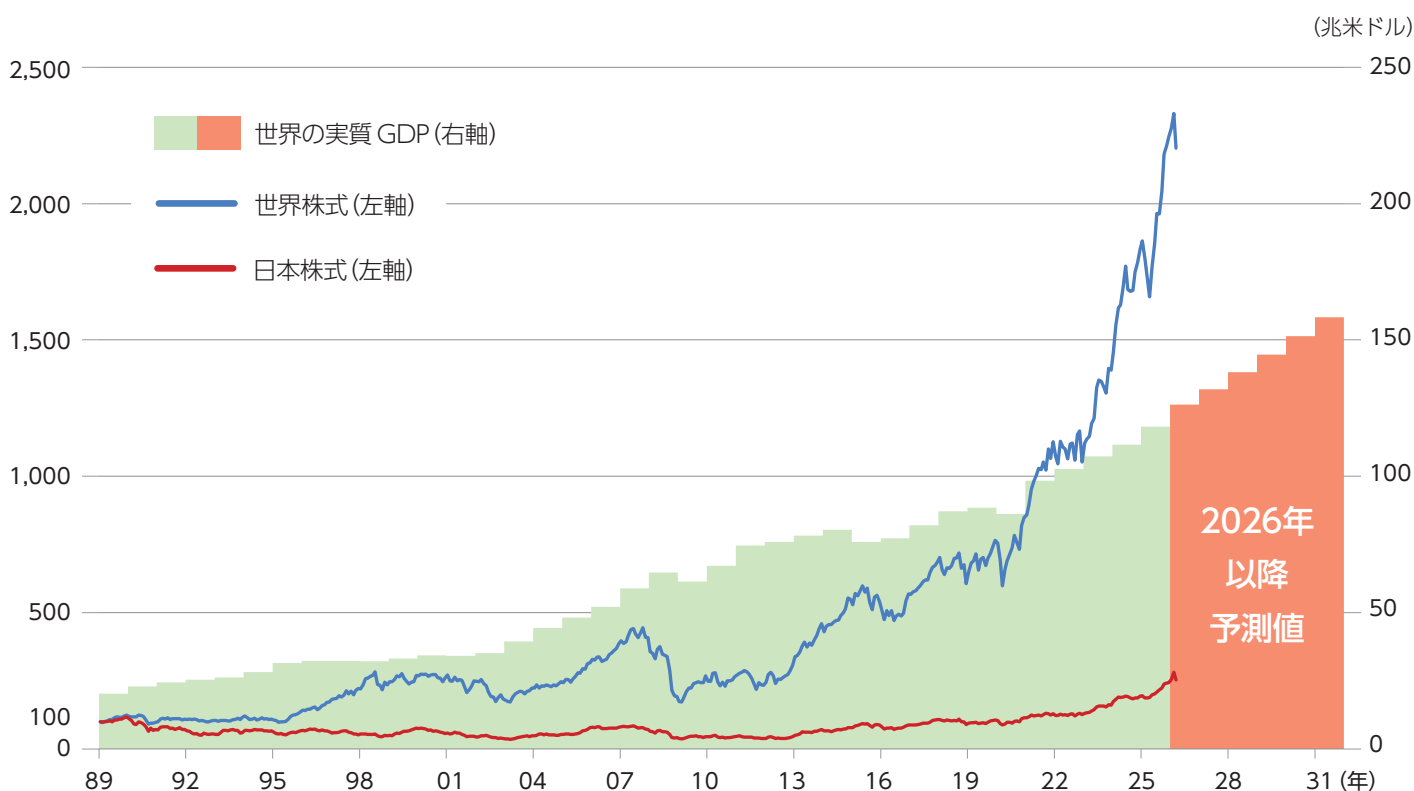
長い期間で見ると、これまで世界経済は概ね3%程度で成長しており、世界の株価も上昇しています。

今後の経済も成長していくと考え、そのすべての可能性に投資をすることができれば、投資した資産も成長していくと思いませんか？

世界/日本株式指数と世界のGDPの推移

(1989年1月末～2026年3月末)

(1989年～2031年)



※世界株式:MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(グロス・配当込み、円換算ベース)、日本株式:配当込みTOPIX。1989年1月末を100として指数化しています。
 ※上記は過去の実績およびIMFの予測であり、将来における運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
 出所:IMF(国際通貨基金)World Economic Outlook Database April 2026.MSCI Inc.、東京証券取引所からのデータを基におおぞら投信が作成。

GDP成長率	世界	先進国	米国	日本	ユーロ圏	新興国
2025年	3.4%	1.9%	2.1%	1.2%	1.4%	4.4%
2026年(予測)	3.1%	1.8%	2.3%	0.7%	1.1%	3.9%
2027年(予測)	3.2%	1.7%	2.1%	0.6%	1.2%	4.2%

出所:IMF(国際通貨基金)World Economic Outlook Database April 2026のデータを基におおぞら投信が作成。
 ※上記は過去の実績およびIMFの予測であり、将来における運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※上記データの単位未満の端数の処理は、全て四捨五入しております。(本書において以下同じです。)

STEP 1 投資の原理原則を知ろう!

何に投資をすればよいのでしょうか?



卵はひとつのカゴに盛るな 投資の世界の格言

1つの資産に投資

全て割れてしまいます

値動きの異なるさまざまな種類の資産に**分散投資**すれば**リスクを抑え、安定性を増す**ことができます

さまざまな資産に投資

カゴを一つ落としても残りは無事です!

2006年以降の資産別リターンと資産評価額の推移

資産別リターンの推移

年 順位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	10年間	20年間
1	新興国株式 33.4%	新興国株式 30.9%	グローバル債券 2.7%	新興国株式 83.1%	金 13.0%	グローバル債券 4.9%	新興国株式 33.0%	日本株式 54.4%	先進国株式 19.5%	日本株式 12.1%	金 7.7%	金 12.8%
2	金 24.3%	金 23.0%	金 -14.1%	先進国株式 33.4%	グローバル債券 4.1%	金 4.3%	先進国株式 30.3%	先進国株式 53.9%	グローバル分散投資* 14.3%	グローバル債券 0.5%	グローバル分散投資* 6.0%	先進国株式 10.1%
3	先進国株式 21.2%	グローバル分散投資* 6.6%	グローバル分散投資* -32.7%	グローバル分散投資* 29.1%	新興国株式 3.6%	グローバル分散投資* -5.6%	グローバル分散投資* 22.1%	グローバル分散投資* 27.4%	金 12.0%	先進国株式 -0.6%	先進国株式 5.2%	グローバル分散投資* 8.3%
4	グローバル分散投資* 16.0%	先進国株式 2.4%	日本株式 -40.6%	金 27.5%	グローバル分散投資* 1.6%	先進国株式 -10.4%	日本株式 20.9%	新興国株式 18.4%	新興国株式 11.4%	グローバル分散投資* -2.6%	新興国株式 3.8%	新興国株式 7.5%
5	日本株式 3.0%	グローバル債券 0.2%	先進国株式 -51.8%	日本株式 7.6%	日本株式 1.0%	日本株式 -17.0%	金 20.8%	グローバル債券 -0.4%	日本株式 10.3%	金 -10.0%	グローバル債券 2.7%	日本株式 5.9%
6	グローバル債券 -1.3%	日本株式 -11.1%	新興国株式 -62.1%	グローバル債券 4.5%	先進国株式 -2.6%	新興国株式 -22.6%	グローバル債券 5.3%	金 -12.9%	グローバル債券 7.3%	新興国株式 -14.7%	日本株式 1.2%	グローバル債券 1.1%

*2006年から2015年は年間のリターン、10年間・20年間は2006年末を起点とした年率リターンを示しています。

2005年末に100万円を投資した場合の資産評価額の推移

年 資産	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2025
A	124	153	131	167	189	197	238	208	233	209	1,111
B	121	124	60	80	78	70	91	139	167	166	681
C	116	124	83	107	109	103	126	160	183	178	492
D	133	175	66	121	126	97	129	153	170	145	425
E	103	92	54	59	59	49	59	92	101	113	315
F	99	99	102	106	111	116	122	122	130	131	124

(単位:万円)

A 金 **B** 先進国株式 **C** グローバル分散投資 **D** 新興国株式 **E** 日本株式 **F** グローバル債券

先進国株式：MSCIワールド・インデックス(ネット・配当込み、円換算ベース)、新興国株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(ネット・配当込み、円換算ベース)、グローバル債券：ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(円ヘッジベース)、日本株式：配当込みTOPIX、金：スポット価格(円ベース)

出所：ブルームバーグのデータに基づきおおぞら投信が作成。

*グローバル分散投資：上記の先進国株式、新興国株式、グローバル債券、金を5:1:3:1の割合で合成したもの。

※インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。

過去の実績は、将来の運用成績を示唆・保証するものではありません。

時間分散
とは？

いつ始めたらよいかわからない・・・

購入時期を分散して高値掴みを回避!



ここで買うと
高値掴み



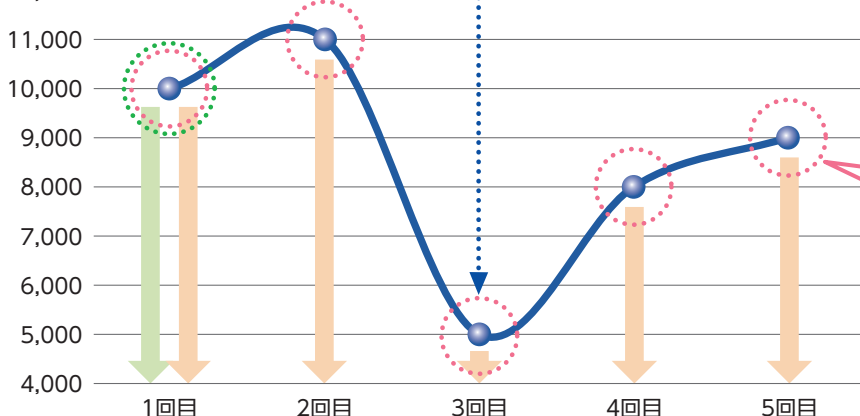
恐怖心から
買いづらい



一度に全額を投資するのではなく、複数回に分けて投資したり、毎月一定額を積み立てるなどの方法で、購入時期を分散させることによって、リスクを小さくすることができます。(ドル・コスト平均法)

平均購入単価が下がる効果に期待! ドル・コスト平均法

基準価額(円)
(1万円当たり)



基準価額が高い時には
購入口数が少なくなり、
低い時には購入口数が
多くなります。

5回目終了時点の評価額
一度に購入: 900,000円
積立て購入: 1,128,636円

基準価額	10,000円	11,000円	5,000円	8,000円	9,000円	購入金額合計	平均購入単価
一度に購入	1,000,000円 (1,000,000口)					1,000,000円 (1,000,000口)	10,000円
積立て購入	200,000円 (200,000口)	200,000円 (181,818口)	200,000円 (400,000口)	200,000円 (250,000口)	200,000円 (222,222口)	1,000,000円 (1,254,040口)	7,974円

定期的在一定金額分を購入

基準価額が高い時
↓
少なく

基準価額が低い時
↓
多く

※上記はあくまでもイメージ図であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。またすべてのケースを網羅しているものではありません。

※投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、基準価額は変動します。P17のファンドの特色、P19の投資リスク、P21のお申込みメモ、ファンドの費用等を必ずお読み下さい。

※上記は時間分散効果をより深くご理解いただくためのイメージであり、本ファンドのシミュレーションではありません。一般的な時間分散効果について解説したものです。

STEP 1 投資の原理原則を知ろう!

「金」はなぜ有効な投資資産なの?

金は、実物資産であるだけでなく、希少価値の高い資産とされています。

「金」の特徴



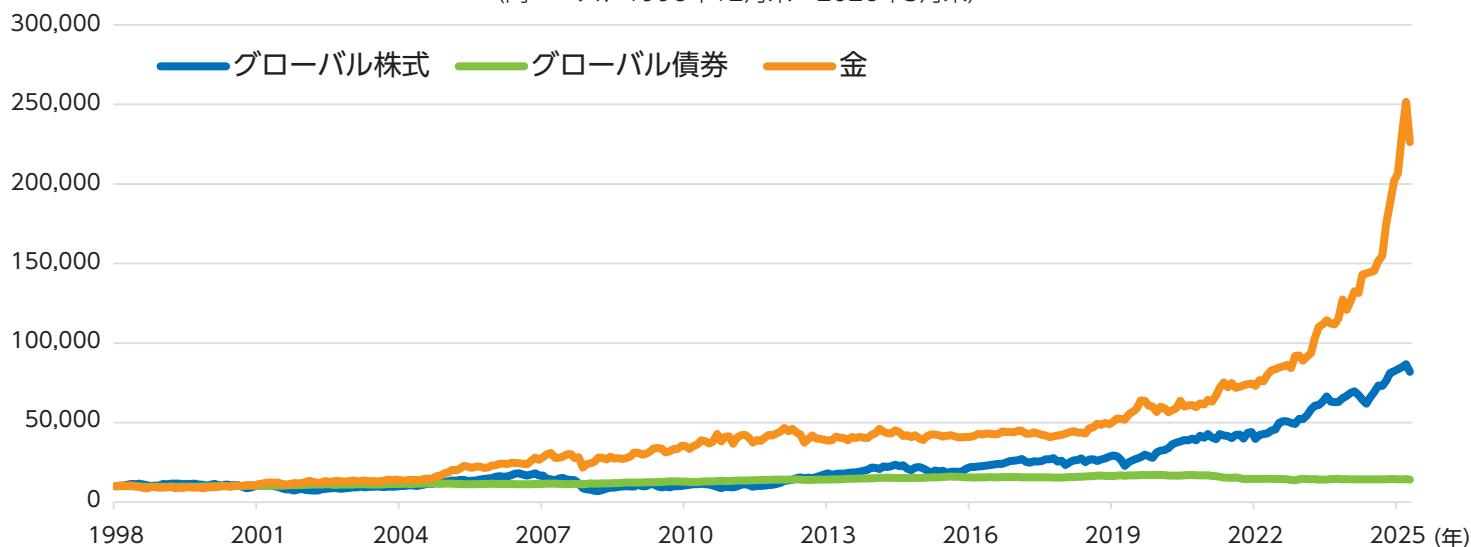
「金(ゴールド)」の価格に影響を及ぼす要因とは?

↑ 金価格の上昇要因 ↑	↓ 金価格の下落要因 ↓	金の特徴
世界的な景気拡大による 実需の増加	世界的な景気後退による 実需の減少	実物資産としての価値がある資産
金利低下	金利上昇	利息や配当を生まない資産
米ドル安	米ドル高	基軸通貨である米ドルの代替と みなされる資産
インフレ率の上昇	インフレ率の低下	希少価値からインフレヘッジ手段 としてみなされる資産
地政学リスクの上昇	地政学リスクの低下	金は世界中で価値が認められており、 特定の国の政治・経済の混乱による 影響を受けにくいとされる資産

※金の価格変動リスクについてはP.20をご参照ください

グローバル株式、グローバル債券、金の価格の推移

(円ベース、1998年12月末～2026年3月末)



グローバル株式: MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(ネット・配当込み、円換算ベース)、グローバル債券: ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(円ヘッジベース)、金: スポット価格(円ベース)。1998年12月末を10,000として指数化しています。

出所: ブルームバーグのデータを基におおぞら投信が作成。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ぜんぞうトリオとは

「ぜんぞうトリオ」は、「これからの20年間」をお客さまが長期投資を実践し続けられる商品を目指しています(投資信託のため、もちろんご自身のタイミングで換金可能です)。

世界のGDPが長期的に 年3%程度で成長

すると、世界の経済規模は20年前後で

2倍になると考えられます。

こうした経済成長の中で物価上昇や新しい商品・サービスの登場が見込まれるため、お客さまの豊かな生活を支えるには、金融資産の成長が重要です。

その目安として、本ファンドでは

基準価額20,000円をチェックポイント

としています。

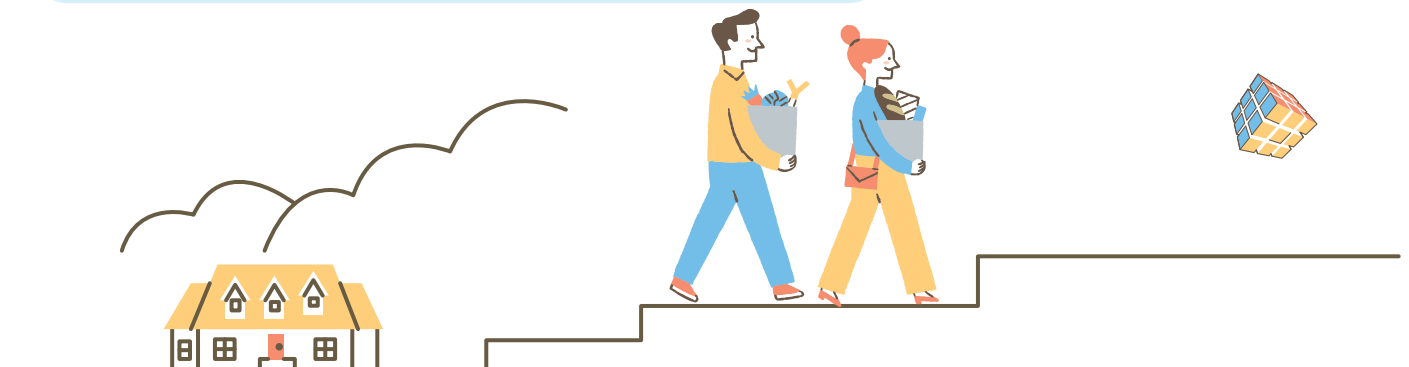
基準価額20,000円は投資の ゴールではありません。

このチェックポイントを超えた後も、これまでの成果を守りながら資産を育てるために、株式・債券・金を組み合わせた「安定成長型運用」*を続けます。

金は株式・債券とは異なる値動き

をすることが多く、組み合わせて運用することで長期投資の運用効率向上が期待できます。

そのため、本ファンドは株式・債券・金の3資産によるグローバル分散投資を行う設計としました。



*ぜんぞうトリオがチェックポイントとしている基準価額20,000円に到達することを保証するものではありません。また、基準価額が20,000円以上に安定的に推移することおよび、将来の運用成果を保証するものではありません。

**本ファンドにおいて、株式30%:債券60%:金10%の比率で運用することを「安定成長型運用」といいます。

ぜんぞうトリオ は、リスクと向き合えコツコツ、じっくり

あおぞら投信の2つの“くふう”

くふう
1

ぜんぞう
株式・金の漸増*1 株式・金の実質的な組入比率を計画的に段階的に引き上げることで、買付時期の分散を図ります。
*1 だんだんと増やすこと

設定当初

グローバル株式 : 概ね 5%
(先進国株式:概ね4%、新興国株式:概ね1%)

金 : 概ね 1%
グローバル債券 : 概ね 94%

1年経過後

グローバル株式 : 概ね 60%
(先進国株式:概ね50%、新興国株式:概ね10%)

金 : 概ね 10%
グローバル債券 : 概ね 30%

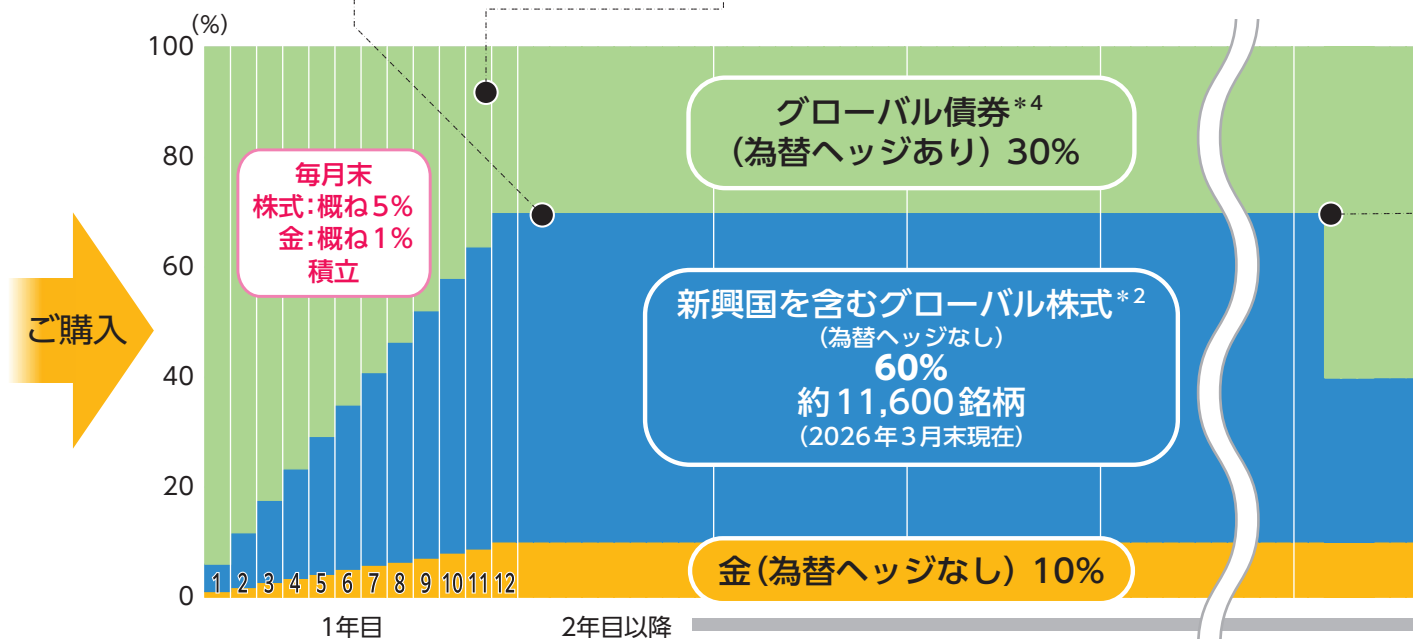
1 資産分散と世界まるごと投資

株式および債券の組入れファンドの運用:
ディメンショナルが学術的研究を応用した運用を実践
しています。

*2 先進国株式:約7,800銘柄 新興国株式:約3,800銘柄
(2026年3月末現在)

2 時間を分散

株式・金の組入比率を毎月末に段階的に引き上げて、
1年かけて株式60%、金10%まで増やします。(漸増)



※上図はぜんぞうトリオの運用の仕組みを時系列で示した概念図です。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用がで
※組入れファンドにおいて、グローバル債券への投資については対円で為替ヘッジを行います。株式および金への投資につい
*4 非投資適格債券にも投資する場合があります。債券の価格変動リスクについてはP.20をご参照ください。



*ぜんぞうトリオがチェックポイントとしている基準価額20,000円に到達
ありません。

育てるファンドです

くふう
2

チェックポイント（基準価額20,000円）到達後、安定成長型運用に切り替え、翌日から信託報酬を引き下げます。

4



3 リバランス*3 運用

2年目以降、毎月末にリバランスを行い、株式60%：債券30%：金10%の比率に戻します。

*3 リバランスとは価格変動によって変わった配分比率を元に戻すことです。

4 チェックポイント（基準価額20,000円）到達後、安定成長型運用に切り替え、翌日から信託報酬を引き下げます。

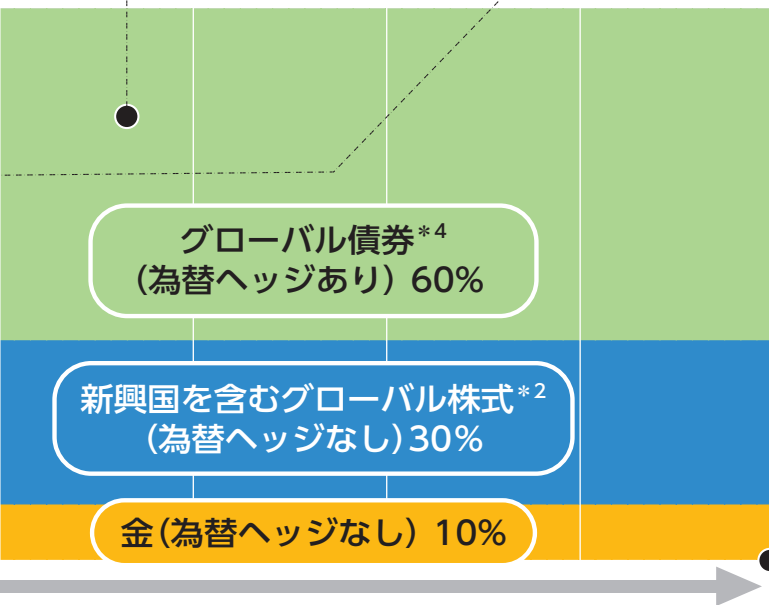
信託報酬

通常時

:年率1.23145% (税込)程度

安定成長型運用時:年率1.11495% (税込)程度

株式リスクを半減させることで価格変動を抑えながら戦略的に資産を長期的に育てていきます。



信託期間終了

(信託期間終了日:2047年7月22日)

きない場合があります。
ては為替ヘッジを行いません。(ファンドの詳細についてはP.17以降をご参照ください。)



することを保証するものではありません。また、基準価額が20,000円以上にて安定的に推移することおよび、将来の運用成果を保証するものでは

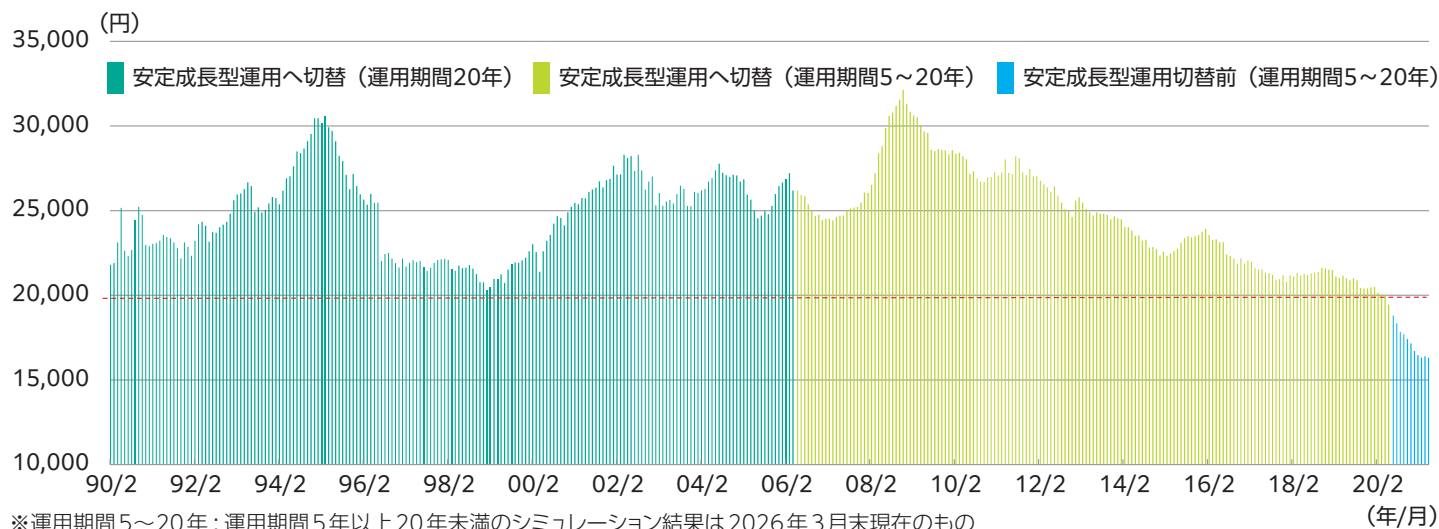
シミュレーション結果

過去「ぜんぞうトリオ」を運用していた場

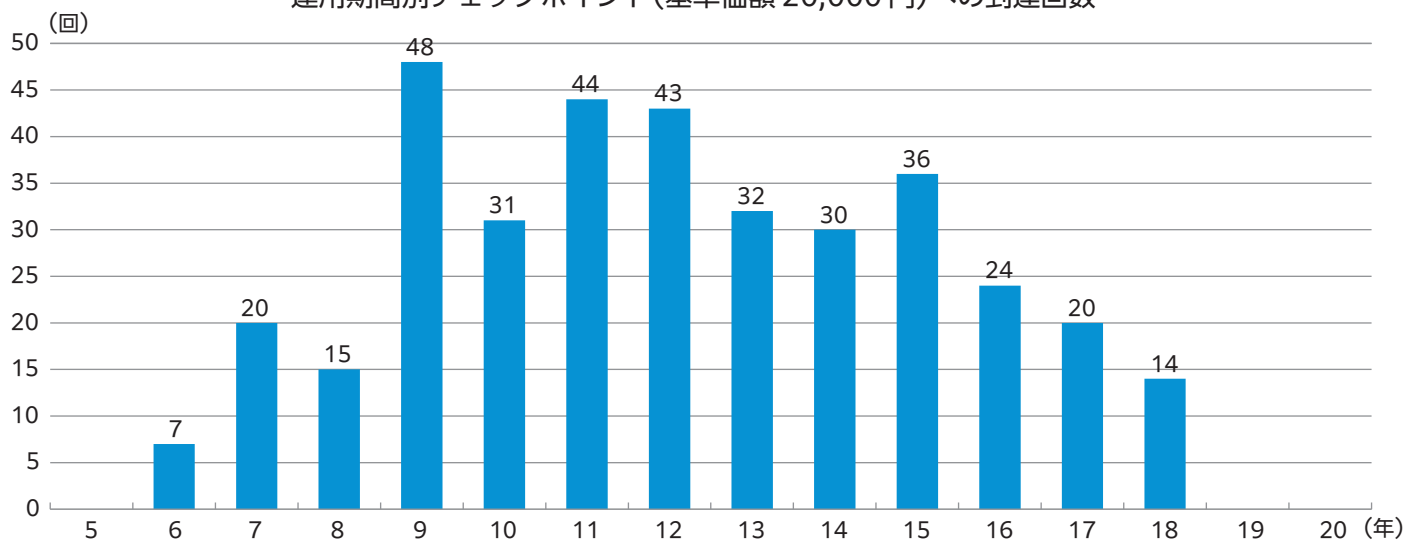
運用開始を1990年1月末から2021年3月末まで1ヶ月ずつずらして計算した

Q1 チェックポイント(基準価額20,000円)には到達するの?

何年でチェックポイントに到達したでしょう? シミュレーションで見てください!



運用期間別チェックポイント(基準価額 20,000 円)への到達回数



基準価額	最短	平均	最長
20,000円到達	5年9ヶ月	11年7ヶ月	17年4ヶ月

※1990年1月末~2021年3月末までに運用開始したもの(未到達のものを除く、全期間)

上記は組入れファンドが参照するインデックス等によるシミュレーションであり、

インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。

【本シミュレーションで使用している指数等について】

<先進国株式> MSCIワールド・インデックス(グロス・配当込み、円換算ベース) MSCIワールド・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、世界の先進を基にあおぞら投信が算出したものです。<新興国株式> MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス・配当込み、円換算ベース) MSCIエマー(グロス・配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス・配当込み、米ドルベース)を基にあおぞら投信が算出したもの国債に加え、政府関連債、社債および資産担保証券で構成されます。<金>スポット価格(円ベース)

出所: プルーフバーグのデータを基にあおぞら投信が作成。

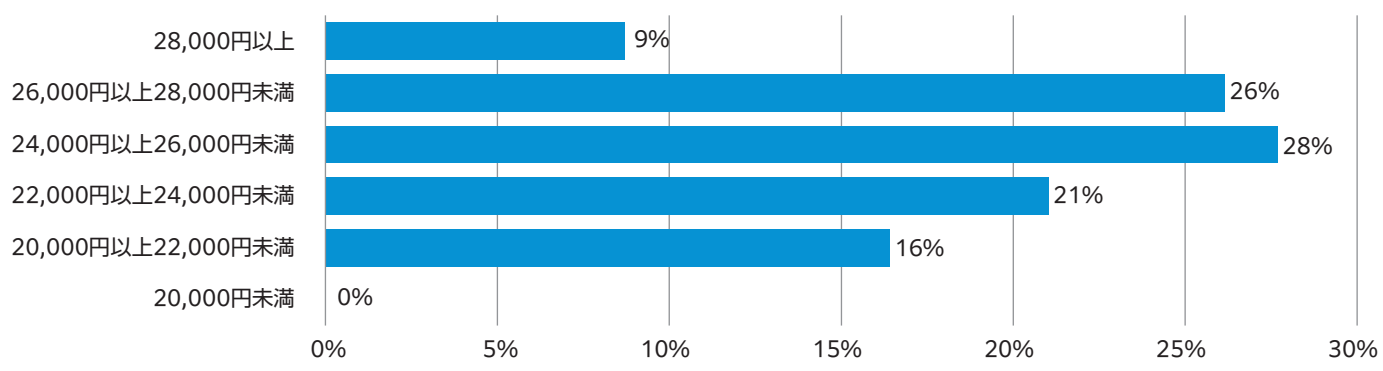
*ぜんぞうトリオがチェックポイントとしている基準価額 20,000 円に到達することを保証するものではありません。また、基準価額が 20,000 円以上にて安定的に

合を考えてみましょう①

全シミュレーション結果(全 375 回)

Q2 チェックポイント(基準価額20,000円)到達後はどの程度資産は成長するの? 20年間でどの程度まで到達したでしょう?

運用期間終了時点の基準価額水準



※1990年1月末～2006年3月末までに運用を開始したもの(運用期間20年)

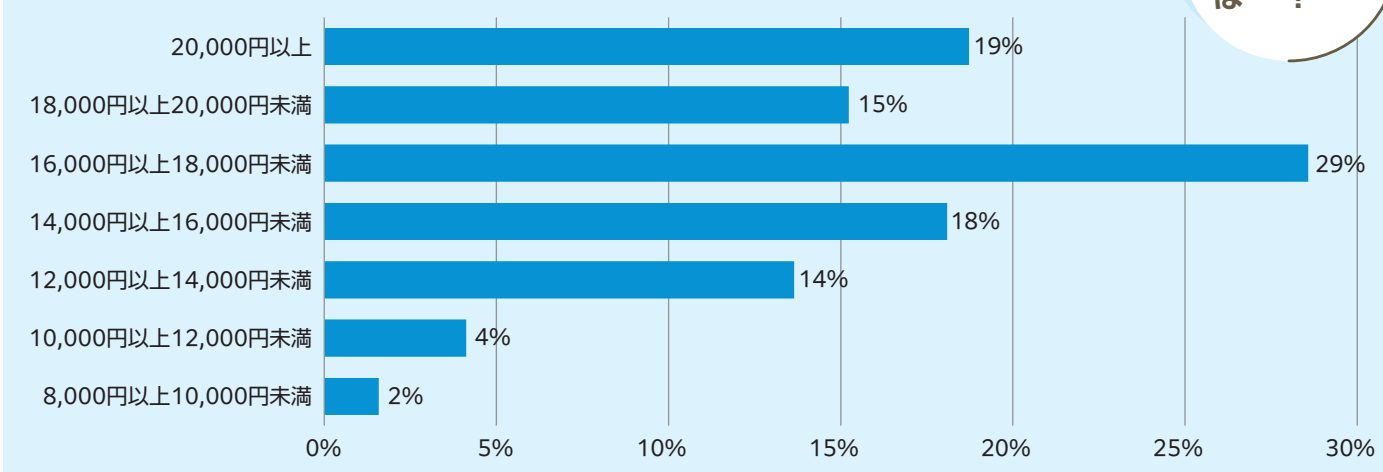
運用期間	最大値	平均値	最小値
20年	30,573円	24,810円	20,290円

全てのケースでチェックポイント(基準価額20,000円)超で終了

折り返し地点の状況は…?

<参考>

運用開始から10年後の基準価額水準



※1990年1月末～2016年3月末までに運用を開始したもの(運用期間10年以上)

すべてのケースを説明しているものではありません。(ファンドの詳細については、P.17以降をご参照ください。)

せん。インデックスのパフォーマンスと組入れファンドのパフォーマンスは異なります。過去の実績は将来の運用成績を示唆するものではありません。

国で構成されています。MSCIワールド・インデックス(クロス・配当込み、円換算ベース)は、MSCIワールド・インデックス(クロス・配当込み、米ドルベース)と、MSCIが開発した株価指数で、世界の新興国の株式で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックスです。<グローバル債券>ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(円ヘッジベース)は日本を含む世界の投資適格債券の代表的な指数です。世界の

推移することおよび、将来の運用成果を保証するものではありません。

STEP 2 ぜんぞうトリオを知ろう!

長期投資でチェックポイントを目指し、その後も資産を戦略的に育てるためには

シミュレーション結果

過去「ぜんぞうトリオ」を運用していた場

Q3 運用期間中の値動きはどうなるのか見てみましょう。

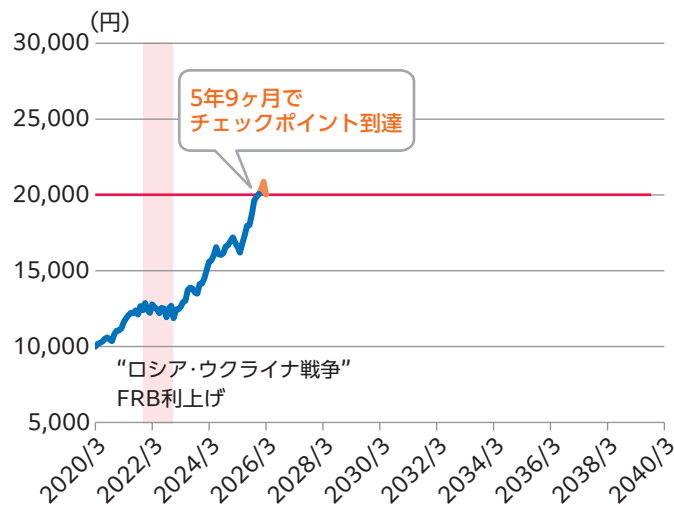
世界株式の動きと「ぜんぞうトリオ」の設定シミュレーション (1990年1月31日～2026年3月31日)



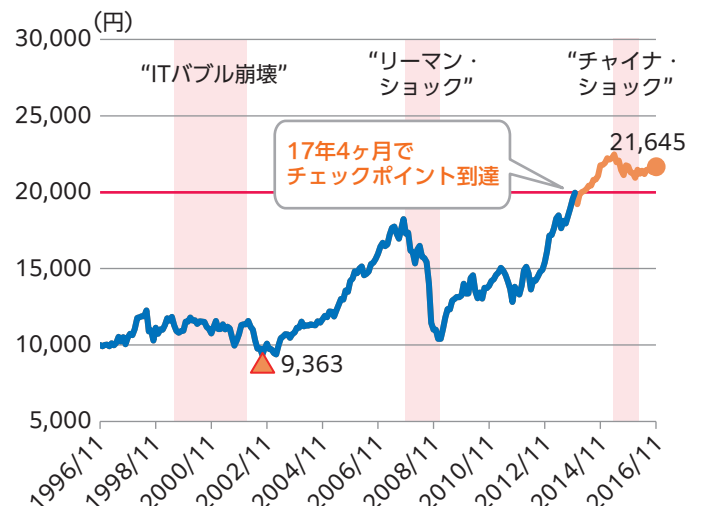
1990年1月末を100として指数化しています。

世界株式:MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(グロス・配当込み、円換算ベース)

1 最短でチェックポイントに到達(運用中) (2020年3月末～2026年3月末)



2 最長でチェックポイントに到達 (1996年11月末～2016年11月末)



上記は組入れファンドが参照するインデックス等によるシミュレーションであり、

インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。保証するものではありません。

【本シミュレーションで使用している指数等について】

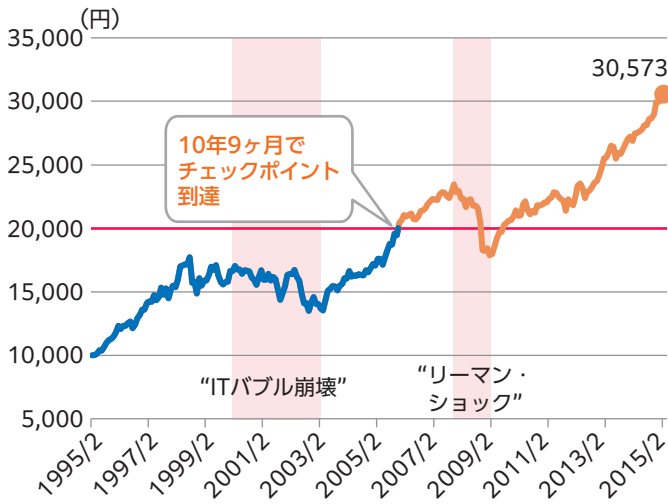
<先進国株式> MSCIワールド・インデックス(グロス・配当込み、円換算ベース) MSCIワールド・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、世界の先進を基におおざら投信が算出したものです。<新興国株式> MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス・配当込み、円換算ベース) MSCIエマージング(グロス・配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス・配当込み、米ドルベース)を基におおざら投信が算出したもの。国債に加え、政府関連債、社債および資産担保証券で構成されます。<金>スポット価格(円ベース)

出所:ブルームバーグのデータを基におおざら投信が作成。

*ぜんぞうトリオがチェックポイントとしている基準価額 20,000円に到達することを保証するものではありません。また、基準価額が20,000円以上にて安定的に

合を考えてみましょう②

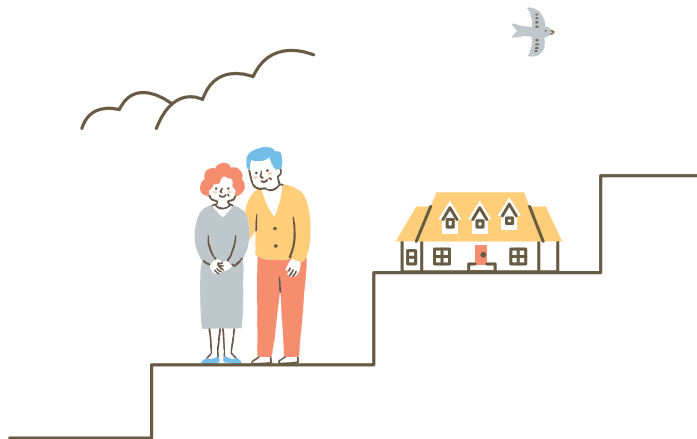
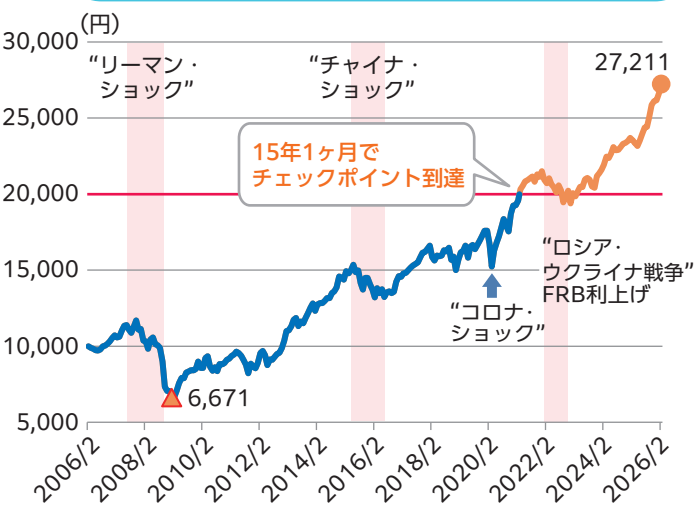
③ 20年後最大となるケース (1995年2月末～2015年2月末)



④ 20年後最小となるケース (1998年12月末～2018年12月末)



⑤ 期間中の下落幅が最大となるケース (2006年2月末～2026年2月末)



すべてのケースを説明しているものではありません。(ファンドの詳細については、P.17以降をご参照ください。)

せん。インデックスのパフォーマンスと組入れファンドのパフォーマンスは異なります。過去の実績は将来の運用成績を示唆あるい

国で構成されています。MSCIワールド・インデックス(グロス・配当込み、円換算ベース)は、MSCIワールド・インデックス(グロス・配当込み、米ドルベース) ジング・マーケット・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、世界の新興国の株式で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックスです。<グローバル債券>ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(円ヘッジベース) は日本を含む世界の投資適格債券の代表的な指数です。世界の

組入れファンドの運用会社のご案内

学術的調査に基づいた 投資哲学を実践しています

ディメン
ショナル
って?

▶ 組入れファンドの運用

株式および債券の組入れファンドの運用は、ディメンショナル・アイルランド・リミテッドが行います。ディメンショナルは、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ・リミテッドおよびその関係会社の総称です。経済分野で世界的に著名な学識経験者がディメンショナルのコンサルタントを務めており、ディメンショナルは学術的研究を応用した運用を実践しています。



ディメンショナル・ファンド・
アドバイザーズ

1981年創立

運用資産残高:9,443億米ドル(約148兆円)

従業員数:1,600名超

※2025年12月末現在、1米ドル=156.64円で換算

出所:ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ

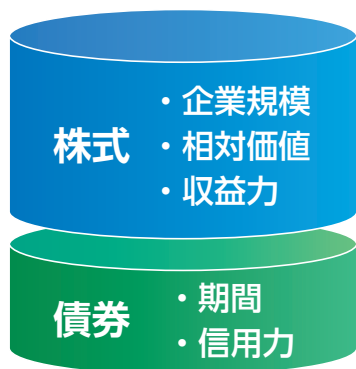


上記「ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ(「ディメンショナル」、「ディメンショナル社」または「Dimensional」ということがあります。)」とは、特定の事業体を示すものではなく、世界各国に展開するディメンショナルのグループ企業である Dimensional Fund Advisors LP, Dimensional Fund Advisors Ltd., DFA Australia Limited, Dimensional Fund Advisors Canada ULC, Dimensional Fund Advisors Pte. Ltd., Dimensional Ireland Limited, Dimensional Japan Ltd.とDimensional Hong Kong Limitedを指します。

▶ ディメンショナルの投資手法

[長期リターンが期待できる特性に着目]

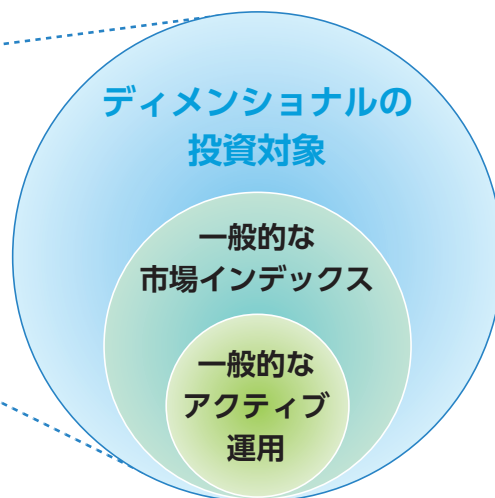
学術研究から得られた特性



長期的・安定的に、一般的なインデックスを
上回る収益を目指しています

[株式投資の範囲]

幅広い銘柄に分散投資



※市況動向や資金動向その他の要因等によっては、上記運用プロセスのような運用ができない場合があります。また、上記運用プロセスは変更される場合があります。

※上記は株式および債券の組入れファンドの運用プロセスについて、あおぞら投信が作成したものです。

投資を科学し、お客さまに付加価値の提供を目指します

値上がりする銘柄を上手く選べる運用者の数は、確率的に、期待するよりはるかに少ない数しかいません。であれば、なぜそのような運用者を探すのでしょうか。その必要はありません。



デービッド・ブース氏
[創業者、チェアマン]

01 市場に対する揺るぎない信頼

新たに発表された研究については慎重に見極め、万全なものかどうかを確認します。



ユージン・ファーマ教授
[ノーベル経済学賞受賞、ディメンショナル・ディレクター¹、コンサルタント²]



03 お客様へのコミットメント

これまででも、そしてこれからも、お客様に素晴らしい経験をしていただくこと。それが私たちの仕事だ。



デーブ・バトラー氏
[共同チーフ・エグゼクティブ・オフィサー、ディメンショナル・ディレクター¹]

02 アイディアの源泉 金融サイエンス

01

ディメンショナルの投資アプローチは、経済理論に基づき、何十年に及ぶ実証実験に裏打ちされたものです

信頼性の低い予測をあてにしたり他者を先読みするのではなく、市場そのものから期待リターンに関する情報を導き出します。

02

ディメンショナルの投資アプローチは、市場に対する信頼に基づいています

同社のリサーチ・チームは、リターンを追求するに当たって、第一線の金融エコノミストと連携しています。

これまでの研究により、期待リターンを生み出す証券には共通の特性があり、私たちはそれを「ディメンション」と呼んでいます。「ディメンション」と認定されるには、説得力があり、持続性があり、普遍性があり、コスト効率が良いという特性が満たされなければなりません。

03

ディメンショナルの運用は、お客様の投資の成功体験をもたらすことを目指しています

それは、単に投資リターンへの考察だけにとどまりません。

何十年もの研究に裏付けられた明瞭なアプローチがあらゆる意思決定を支えていることを理解していただき、お客様に安心してもらおうことです。市場は好調な時もあれば厳しい時もあります。ディメンショナルのゴールは、市場の動きに十分備え、投資プランを守り続けることができる運用サービスをお客様に提供することです。

1 ディメンショナル・ディレクターは、Dimensional Fund Advisors LPの実質親会社(ジェネラル・パートナー)の取締役を指します。

2 ユージン・ファーマ教授は、Dimensional Fund Advisors LPにコンサルティング・サービスを提供しています。

※ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズの許可を得て使用。© 2026 Dimensional Fund Advisors. All rights reserved.

金に実質的に投資する組入ファンドの運用は、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社が行います。



アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

設立年月日 1959年12月1日

資本金 173億63百万円

就業者数 960名(2025年3月末時点)

※アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社、および連結子会社の役社員を含む。

運用資産総額 42兆9,955億円(2025年12月末時点)

出所:アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

ファンドの特色

特色 1 世界の株式・債券・金に分散投資

投資信託証券を通じて日本を含む世界*1の株式および債券ならびに金に広く分散投資を行うことで、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

*1 新興国を含みます。

■投資する投資信託証券(本資料において、「組入れファンド」といいます。)

先進国株式 ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・エクイティ・ファンド

新興国株式 ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー エマージング・マーケット・バリュー・ファンド

グローバル債券 ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・コア・フィクスト・インカム・ファンド*2

金 あおぞら・ゴールド・マザーファンド

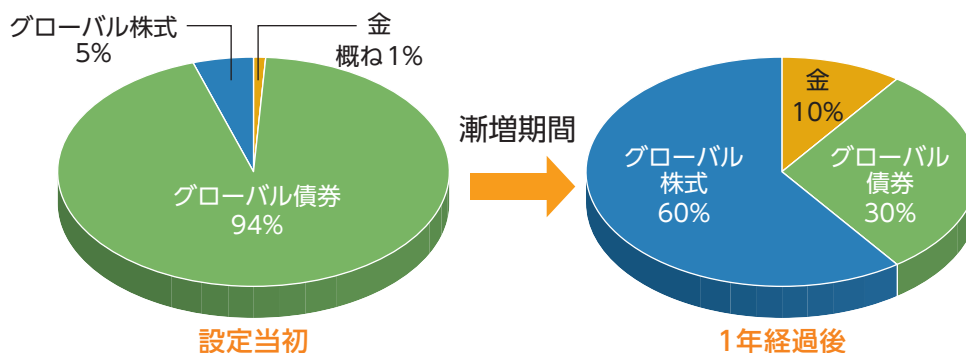
*本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

※組入れファンドにおいて、グローバル債券への投資については対円で為替ヘッジを行いますが、株式・金への投資については為替ヘッジを行いません。

*2 非投資適格債券にも投資する場合があります。

特色 2 株式・金の組入比率を段階的に引き上げます。*

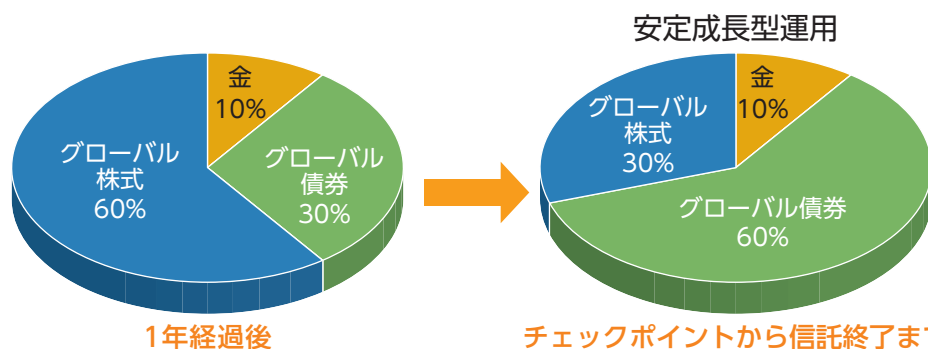
株式・金の実質的な組入比率を計画的に段階的に引き上げることで、買付時期の分散を図ります。



* あおぞら投信が組入れファンドの比率を変更することにより行います。
※左記組入比率は概算値です。

特色 3 チェックポイントとする基準価額20,000円到達後、株式・債券比率を入れ替え、翌日から信託報酬を引き下げます。*

本ファンドにおいて、株式30%:債券60%:金10%の比率で運用することを「安定成長型運用」といいます。チェックポイントとする基準価額20,000円到達後も信託期間終了日まで運用は継続されるため、基準価額は変動します。基準価額が20,000円に到達しての償還、買取をお約束するものではありません。



* あおぞら投信が組入れファンドの比率を変更することにより行います。
※左記組入比率は概算値です。

信託報酬は、設定当初からチェックポイントとする基準価額20,000円到達までは年率1.23145% (税込)程度、安定成長型運用に切り替え後は年率1.11495% (税込)程度となります。

上記に記載の信託報酬は、本ファンドの信託報酬に投資対象とする投資信託証券の運用報酬を合わせた、投資者が実質的に負担する信託報酬です。

特色 4 学術的研究に基づく運用

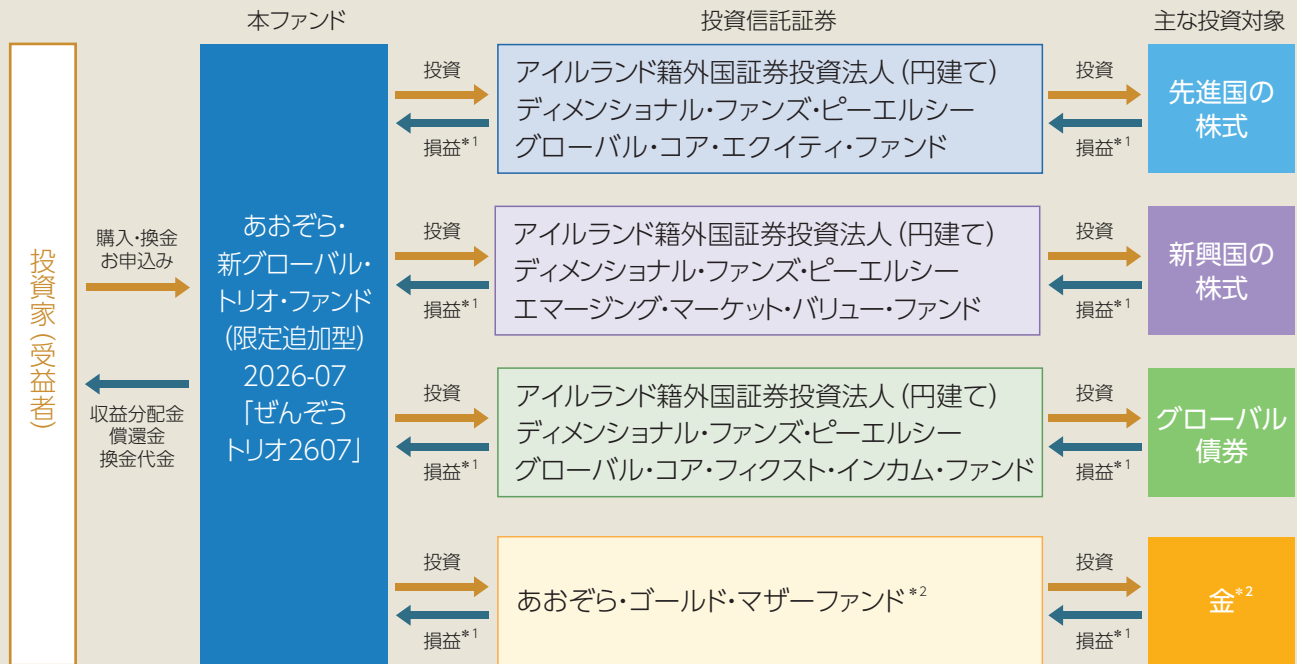
株式および債券の組入れファンドの運用は、学術的研究に基づく運用を実践する「ディメンショナル・アイルランド・リミテッド」が行います(金の運用を除く)。

ディメンショナルは、経済分野で世界的に著名な学識経験者がコンサルタントを務めており、学術的研究を応用した運用を実践しています。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

ファンドの仕組み

本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。株式・債券への実質的な投資にあたっては、ディメンショナル・アイルランド・リミテッドが運用する以下の投資信託証券を投資対象とします。また、金の実質的な投資にあたっては、あおぞら投信が設定・運用する親投資信託証券を通じて、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社が運用する投資信託証券を主要投資対象とします。



*1 損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

*2 あおぞら・ゴールド・マザーファンドは、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社が運用する「ゴールド・ファンド(適格機関投資家向け)」を通じて実質的に金に投資を行います。

※上記は有価証券届出書提出日現在予定されている指定投資信託証券の一覧です。指定投資信託証券については見直されることがあります。この場合、新たに投資信託証券を指定したり、既に指定されていた投資信託証券を除外する場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので、基準価額は変動します。また、為替の変動による影響を受けます。したがって、**投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**本ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因



株価変動 リスク

本ファンドは実質的に株式に投資を行いますので、株価変動リスクを伴います。一般に株式市場が下落した場合には、本ファンドが実質的に投資を行う株式の価格は下落し、本ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、株式の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合、当該企業の株式の価格が大きく下落し、本ファンドの基準価額により大きな影響を及ぼします。なお、本ファンドは一部新興国の株式に投資を行いますが、新興国の株価変動は先進国以上に大きいものになることが予想されます。



為替変動 リスク

本ファンドの実質的な主要投資対象は外貨建資産であり、一般に為替変動リスクを伴います。本ファンドの株式および金部分については原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。本ファンドの債券部分については、投資対象ファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、投資対象資産および投資対象資産から生じる収益のすべてを完全にヘッジできるとは限りません。なお、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります(ヘッジ・コストとは、ヘッジ対象通貨の金利と円金利の差に相当し、円金利の方が低い場合この金利差分収益が低下します。)



債券価格変動 リスク

本ファンドは実質的に債券に投資を行いますので、債券価格変動リスクを伴います。一般に債券の市場価格は、金利が上昇すると下落し、金利が低下すると上昇します。投資対象とする国・地域の金利が上昇し、保有する債券の価格が下落した場合には、本ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、債券への投資に際しては、発行体の債務不履行（デフォルト）等の信用リスクを伴います。一般に、発行体の信用度は第三者機関による格付で表されますが、格付が低いほど債務不履行の可能性が高いことを意味します。発行体の債務不履行が生じた場合、債券の価格は大きく下落する傾向があるほか、投資した資金を回収できないことがあります。また、債務不履行の可能性が高まった場合（格下げ等）も債券価格の下落要因となります。なお、非投資適格格付の債券については、投資適格格付の債券と比較して、価格が大きく変動する可能性や債務不履行等が生じるリスクが高いと想定されます。一般に、債券価格の変動幅および信用リスクは、残存期間が長いほど、また発行体の信用度が低いほど、大きくなる傾向があります。なお、本ファンドは一部新興国の債券に投資を行います。新興国の債券は、一般に市場規模や取引量が少ないため、経済状況の悪化や、本ファンドに大量の設定解約が生じた場合等には、市場実勢から期待される価格や評価価格通りに取引できない可能性があり、本ファンドの基準価額の下落要因となる場合があります。



金価格変動 リスク

本ファンドは実質的に金に投資を行いますので、金価格変動リスクを伴います。一般に、金地金（きんじがね）の指標価格は金の需給関係や為替、金利の変動など様々な要因により大きく変動し、組入上場有価証券は金地金の指標価格の変動等の影響を受けて変動するため、これらの影響を受けて本ファンドの基準価額が変動する可能性があります。



カントリー・ リスク

本ファンドの株式および債券部分において、一部新興国に投資を行いますので、カントリー・リスクを伴います。新興国市場への投資には、先進国市場への投資と比較して、社会・政治・経済の不確実性、市場規模が小さい故の低い流動性、通貨規制および資本規制、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートや現地通貨交換に要するコストの大きな変動、外国への送金規制等の影響を受けて、本ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。

STEP 3 ぜんぞうトリオを始めよう! ファンドの詳細情報はこちら

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」および目論見書補完書面をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

お申込みメモ

購入の申込期間	当初申込期間:2026年7月1日から2026年7月30日まで 継続申込期間:2026年7月31日から2026年12月24日まで
購入単位	販売会社により異なります。
購入価額	当初申込期間:1口当たり1円(1万口当たり1万円) 継続申込期間:購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	当初申込期間:当初申込期間中にお申込みの販売会社にお支払いください。 継続申込期間:販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	アイルランド証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日
信託期間	2047年7月22日まで(設定日:2026年7月31日) ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めた場合は、信託期間を延長することができます。
繰上償還	受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年7月20日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回(7月20日)の決算時に原則として収益の分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ※本ファンドは長期的な信託財産の成長に資するため、収益分配金は少額に抑えることを基本とします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。本ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。原則、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益(法人の場合は個別元本超過額)が課税の対象となります。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			
購入時手数料	購入価額に、 2.75%(税抜2.5%)を上限 として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。		
信託財産留保額	なし		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
運用管理費用(信託報酬)		通常時	安定成長型運用時 ^{*3}
	本ファンドの運用管理費用(信託報酬):純資産総額に対して	年率0.9900%(税抜0.900%)	年率0.8800%(税抜0.800%)
	投資対象とする投資信託証券の運用報酬:資産総額に対して	最大で年率0.24145%程度 ^{*1}	最大で年率0.23495%程度 ^{*1}
	実質的な負担:純資産総額に対して	年率1.23145%(税込)程度^{*2}	年率1.11495%(税込)程度^{*2}
	^{*1} 投資対象とする投資信託証券を、投資方針に基づき組入れた場合の最大値を委託会社が算出したものです。 ^{*2} 本ファンドの信託報酬に本ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬を合わせた、投資者が実質的に負担する信託報酬です。 ^{*3} 基準価額が20,000円に到達し、安定成長型運用に移行した場合は、その翌日から信託報酬を引き下げます。 ※運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他の費用・手数料	信託事務の諸費用	監査費用、印刷費用等、信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。また、投資対象とする投資信託証券において管理報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の資産規模ならびに運用状況等に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する当該管理報酬等の率および総額は事前に表示することができません。	
	売買委託手数料等	有価証券売買時の売買委託手数料、借入金・立替金の利息、ファンドに関する租税等がファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。	

※上記手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社その他関係法人の概要について

- あおぞら投信株式会社(委託会社) : 信託財産の運用の指図等を行います。
- 三井住友信託銀行株式会社(受託会社) : 信託財産の保管・管理等を行います。
- 販売会社 : 本ファンドの販売業務等を行います。
販売会社については下記の照会先までお問い合わせください。

【照会先】あおぞら投信株式会社

電話:050-3199-6343(受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページ・アドレス: <https://www.aozora-im.co.jp/>



お客様の大切な資産を全力で守り、育てていく、
長くお付き合いいただける運用会社に